

2026 年度対応 神戸大学予想問題

【解答】

問 1 A=エ B=イ C=ウ D=ア

問 2 支持者たちは、この考え方が、自動車への依存を減らす一方で、公衆衛生と地域社会の生活の質の両方を向上させる可能性があるとして主張している。

問 3 自動車交通を減らし都市を静かで安全にすること。

問 4 15 分都市という考え方。

問 5 これは最終的には、当初の計画のあらゆる面が意図通り正確に実現できるかどうかよりも重要なかもしれない。

問 6 ア・ウ

※設問番号に「問 2」が重複しているため、解説では順に 問 1・問 2・問 3・問 4・問 5・問 6 とし整理します。

【本文全訳】

近年、世界中の多くの都市が、都市生活と交通との関係を見直し始めている。現代都市は主として自動車を中心に設計されてきたため、現在では多くの人々が、自宅、職場、学校、買い物場所の間を通勤・移動するのに長時間を費やしている。この状況は、交通渋滞、大気汚染、そして家族や地域活動のための時間不足など、さまざまな社会的・環境的問題を生み出している。こうした懸念への対応として、一部の都市計画家は「15 分都市」という考え方を提案している。そのような都市では、住民は日常生活に必要なもののほとんどに徒歩または自転車で 15 分以内に到達できるようになる。支持者たちは、この考え方が、自動車への依存を減らす一方で、公衆衛生と地域社会の生活の質の両方を向上させる可能性があるとして主張している。

この概念は、特に COVID-19 流行後のリモートワークの広がりを受けて、いくつかの大都市で注目を集めた。多くの人々が毎日長距離を移動す

る必要がなくなったため、仕事、教育、医療、娯楽のすべてに近くでアクセスできる地域への関心が高まった。そのため、一部の都市では、道路を再設計したり、自転車専用道路を拡張したり、地域住民のための公共空間を増やしたりしている。支持者たちは、これらの変化が近隣住民同士の直接的な交流を促し、地域社会を強化できると主張している。また、自動車交通を減らすことで、二酸化炭素排出量を減らし、都市をより静かで安全なものにできるとも述べている。特に高齢者や子どもにとって、これは日常生活をより快適で自立したものにする可能性がある。

しかし批判者たちは、この考え方がすべての人にとって同じように現実的とは限らないと指摘している。大都市では、需要が増加すれば、便利な地域の住宅価格がさらに上昇するかもしれない。また、遠隔で行うことができず、依然として長距離移動を必要とする仕事もある。さらに、高度医療や高等教育のような専門的サービスは、すべての地域に容易に提供できるわけではない。したがって批判者たちは、15 分都市を都市問題に対する万能の解決策として扱うべきではないと警告している。それにもかかわらず、多くの研究者は、この考え方には依然として価値があると考えている。なぜならそれは、人々に都市がどのように組織されるべきか、そして人々が本当に望む都市生活とはどのようなものかを再考させるからである。これは最終的には、当初の計画のあらゆる側面が意図通り正確に実現できるかどうかよりも、重要なかもしれない。

問 1 空所補充

A=エ commuting

該当箇所: many people now spend long hours (A) between their homes, workplaces, schools, and shopping areas. ここは spend + 時間 + Ving の形

です。「～して時間を過ごす」という構文なので、空所には動名詞が入ります。

spend long hours commuting = 「長時間、通勤・移動する」

したがって、A は commuting が適切です。

B = イ necessities

該当箇所: residents would be able to reach most daily (B) within fifteen minutes daily necessities で「日用品・生活必需品」という意味です。15分都市とは、生活に必要な場所・サービスに徒歩や自転車で短時間に到達できる都市構想なので、文脈にも合います。

C = ウ emissions

該当箇所: reducing automobile traffic could lower carbon (C) carbon emissions で「炭素排出量」「二酸化炭素排出量」です。自動車交通を減らすことで排出量を下げると、という環境面の効果を述べています。

D = ア solution

該当箇所: the 15-minute city should not be treated as a universal (D) to urban problems a universal solution to A = 「A に対する万能の解決策」ここでは、15分都市を都市問題に対する万能薬のように考えるべきではない、という批判者の立場が述べられています。

問2 下線部(1) 和訳

模範訳

支持者たちは、この考え方が、自動車への依存を減らす一方で、公衆衛生と地域社会の生活の質

の両方を向上させる可能性がある」と主張している。

骨格は、Supporters argue that S could reduce A while improving B. です。

- argue that SV
「～だと主張する」
- this approach
「この考え方」= 15分都市の考え方
- reduce dependence on cars
「自動車への依存を減らす」
- while improving ...
「～を改善する一方で」
- both A and B
「A と B の両方」
- public health
「公衆衛生」
- the quality of community life
「地域社会の生活の質」

特に、while + Ving はここでは「～する一方で」という付帯状況を表します。

採点基準(6点)

- 6点: argue that, reduce dependence on cars, while improving, both A and B を正確に訳している。
 - 5点: 全体の意味は正確だが、一部の表現がやや不自然。
 - 4点: 自動車依存の減少と生活の質向上の大意は取れている。
 - 3点以下: while の処理, both A and B, または文の骨格が崩れている。
-

問3 下線部(2) this の内容説明

模範解答 自動車交通を減らし都市を静かで安全にすること。

解説

2026 年度対応 神戸大学予想問題

下線部(2)の this は、直前の文の内容を受けています。直前には、reducing automobile traffic could lower carbon emissions and make cities quieter and safer とあります。つまり this が指すのは、自動車交通を減らすことで、炭素排出量を減らし、都市をより静かで安全にすることです。ただし 35 字以内なので、答案では中心内容を絞って、自動車交通を減らし都市を静かで安全にすること。とまとめるのがよいです。

採点基準(4 点)

- 4 点:「自動車交通を減らすこと」と「都市を静かで安全にすること」の両方を含む。
- 3 点:どちらか一方がやや弱い、直前内容を受けていることは明確。
- 2 点:「交通問題を改善すること」など、大意は合うが具体性不足。
- 1 点:「都市生活をよくすること」など、抽象的すぎる。
- 0 点:誤読・無解答。

問 4 下線部(3) it の内容説明

模範解答 15 分都市という考え方。

解説

下線部(3)の it は、直前の the idea を受けています。

英文は、many researchers believe the idea remains valuable because it encourages people ...となっています。ここで it = the idea です。そして the idea とは、本文全体で説明されている the idea of the “15-minute city” を指します。したがって、答えは 15 分都市という考え方。となります。

採点基準(4 点)

- 4 点:「15 分都市という考え方」まで具体化できている。

- 3 点:「15 分都市」「15 分都市構想」など、核心は押さえている。
- 2 点:「都市の在り方を見直す考え」など、方向性は合うが具体性不足。
- 1 点:「考え方」「都市計画」など、抽象的すぎる。
- 0 点:誤読・無解答。

問 5 下線部(4) 和訳

模範訳これは最終的には、当初の計画のあらゆる面が意図通り正確に実現できるかどうかよりも重要なかもしれない。

文法・構文解説

- This
直前内容,「都市の在り方や望ましい都市生活を再考させること」
- may ultimately be more important than ...
「最終的には～よりも重要なかもしれない」
- whether S V
「S が V するかどうか」
- every aspect of the original plan
「当初の計画のあらゆる面」
- can be achieved
受動態で「実現されうる」
- exactly as intended
「意図された通り正確に」

ここでは whether 節 を名詞節として処理できるかが重要です。

採点基準(8 点)

- 8 点:more important than whether, every aspect, can be achieved, as intended を正確に処理できている。

- 6～7点:全体の意味は正確だが,一部表現がやや不自然。
- 4～5点:比較構文や whether 節の処理が弱い,大意は取れている。
- 3点以下:比較関係,受動態,whether 節のいずれかを大きく誤読している。

問6 内容一致

正解 ア・ウ

(ア) 正しい

Some supporters of the 15-minute city believe that reducing car use may improve both environmental conditions and community relationships.

本文では,

- reduce dependence on cars
- lower carbon emissions
- strengthen local communities
- improve the quality of community life

と述べられています。したがって、「自動車利用の削減が環境面と地域関係の両方を改善する可能性がある」

という内容は本文に合致します。

(イ) 誤り

The passage suggests that most people stopped working during the COVID-19 pandemic because transportation systems became unreliable.

本文では, COVID-19 後に remote work が広がり, 長距離移動の必要が減ったと述べています。

「多くの人が働くのをやめた」「交通機関が信頼できなくなった」とは書かれていません。

(ウ) 正しい

Critics argue that convenient urban areas may become more expensive if many people wish to live there.

本文では, housing prices in convenient areas may rise even further if demand increases

とあります。

「便利な地域の住宅価格が, demand の増加によってさらに上がるかもしれない」という内容なので, 本文と一致します。

(エ) 誤り

According to the passage, specialized medical services can already be provided equally in every neighborhood of large cities.

本文では逆に, certain specialized services, such as advanced medical treatment or higher education, cannot easily be provided within every neighborhoodとあります。

高度医療や高等教育は, すべての地域に容易に提供できるわけではありません。

(オ) 誤り

The writer claims that the 15-minute city will completely solve the major social problems faced by modern cities.

本文では, should not be treated as a universal solution to urban problems と述べられています。つまり, 15分都市は万能の解決策ではない, という立場です。「完全に解決する」は本文と逆です。